

外部評価軽減要件確認票

事業所番号	2397400017
事業所名	グループホームいせ木

【重点項目への取組状況】

重点項目①	事業所と地域とのつきあい（外部評価項目：2） 地域交流センターのスペースを活用し、地域の人に貸し出しをしている。ヨガ教室や民謡教室等に利用があり、ホームと地域の交流のきっかけとなっている。回想センターなどの社会資源の活用、商店の利用等でホームから外への交流にも努めている。	評価 ○
重点項目②	運営推進会議を活かした取組み（外部評価項目：3） 年6回の会議を開催している。毎回多数の参加が得られ、意見交換の場として活用している。運営報告や事故・ヒヤリハット報告を通じ、意見や助言を聴取している。聴き取った内容は職員間で周知し、ホーム運営に反映させている。	評価 ○
重点項目③	市町村との連携（外部評価項目：4） 地域包括支援センターの運営推進会議への参加で、運営の実状等、ホーム理解を推進している。また、市の担当部署とは、ホーム運営の相談や報告を通じ、意見や指導を仰いでいる。	評価 ○
重点項目④	運営に関する利用者、家族等意見の反映（外部評価項目：6） 運営推進会議、ホーム行事参加は、他者との交流ともなっており、意見交換の場となっている。個人別には、面会時や電話連絡時に直接話し合い、意見や提案、意向を聴き取っている。意見や意向が出しやすいように、家族宛に写真付きのお便りを出し、利用者の状況を伝えている。	評価 ○
重点項目⑤	その他軽減措置要件 ○「自己評価及び外部評価」及び「目標達成計画」を市町村に提出している。 ○運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されている。 ○運営推進会議に市町村職員等が必ず出席している。	評価 ○ ○ ○
総合評価		○

1. 外部評価軽減要件

- ① 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」及び「2 目標達成計画」を市町村に提出していること。
- ② 運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されていること。
- ③ 運営推進会議に、事業所の存する市町村職員又は地域包括支援センターの職員が必ず出席していること。
- ④ 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」のうち、外部評価項目の2、3、4、6の実践状況（外部評価）が適切であること。

2. 外部評価軽減要件④における県の考え方について

外部評価項目	確認事項
2. 事業所と地域のつきあい	(例示) ① 自治会、老人クラブ、婦人会、子ども会、保育園、幼稚園、小学校、消防団などの地域に密着した団体との交流会を実施している。 ② 地域住民を対象とした講習会を開催若しくはその講習会の講師を派遣し、認知症への理解を深めてもらう活動を行っている。
3. 運営推進会議を活かした取組み	(例示) ① 運営基準第85条の規定どおりに運用されている。 ② 運営推進会議で出された意見等について、実現に向けた取組みを行っている。
4. 市町村との連携	(例示) ① 運営推進会議以外に定期的な情報交換等を行っている。 ② 市町村主催のイベント、又は、介護関係の講習会等に参画している。
6. 運営に関する利用者、家族等意見の反映	(例示) ① 家族会を定期的（年2回以上）に開催している。 ② 利用者若しくは家族の苦情、要望等を施設として受け止める仕組みがあり、その改善等に努めている。 ③ 家族向けのホーム便り等が定期的（年2回以上）に発行されている。

【過去の軽減要件確認状況】

実施年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
総合評価	○	○	○	○	○	◎	○	○			